



東京から青山学院大学の堀田理事長も駆け付けてくださいました



本番に向けて抱負を語る3選手（左から川内優輝さん、秋山雄飛さん、西脇舞さん）



試合前日はドロドロしたものを食べるという川内選手の影響を受け、特産商品のカレーをプレゼント



上田清司埼玉県知事



市長のイキな計らいで、急ぎよ埼玉県知事に電話



山陽新聞社越宗会長も大会の後押しを誓った



昭和中学校の生徒8人から翌日の本番に向けてエールが送られた(写真上)。片岡市長からナンバーカードと記念品が贈られた高砂中学校の生徒4人。「明日のマラソンは高砂中魂でがんばります」と意気込みを述べた



## 2017 2月26日 吉備路マラソン 前夜祭

2017.そうじゃ吉備路マラソン前日の2月25日には、市民会館で前夜祭を開催。前日受け付けで訪れたランナーや市民ら約700人が参加しました。

2部構成で行われた前夜祭の第1部では、コーススポンサー紹介や、そうじゃ吉備路マラソンと連携協定を結び、仙台国際ハーフマラソン開催地である仙台市の高砂中学校の生徒4人と、昭和中学校の生徒8人との交流。第2部ではゲストランナーの川内優輝選手、秋山雄飛選手、西脇舞選手のトークショーが行われ、会場は大いに盛り上がっていました。



ghostnote 大平伸正さんによるテーマソング「a walk in the life」の引き語り



今大会に協力くださったスポンサーを紹介



鹿児島県南種子町の名越修町長(写真左)と新潟県十日町市の蔵品泰治教育長(写真右)にナンバーカードを贈呈

## 応援がランナーの力に



## 心の込もったおもてなし



## 2087人のボランティア

### お礼

大会開催にあたり、準備や運営、沿道警備、給水、駐車場といったボランティア、沿道からの応援、物的な支援や盛り上げなどにご協力いただき、深く感謝申し上げます。また、交通規制などでは何かとご迷惑をお掛けしました。ご協力ありがとうございました。

大会長 片岡聡一

